



RELEASE NOTES

May 2017

Rogue Wave Views®

バージョン 6

イントロダクション

このリリースノートはRogue Wave Views の以下のバージョンにおける主な変更点を記述しています。

- ・ [Views バージョン 6.2 の変更点](#)
- ・ [Views バージョン 6.1 の変更点](#)
- ・ [Views バージョン 6.0 の変更点](#)

Views バージョン 6.2 の変更点

- ・ [新しい機能](#)
- ・ [新しいサポート環境](#)
- ・ [更新された機能](#)
- ・ [バグフィックス](#)
- ・ [削除された機能](#)

新しい機能

以下の機能がRogue Wave バージョン 6.2 に追加されました。

- ・ ActiveX の事前登録：Rogue Wave Views の Windows 用インストーラが配布された ActiveX をインストール時に登録するようになりました。これによりインストールを管理者権限で行うことが必須になります。
- ・ 文字列や任意のパターンによる単純なマッチを実行するメソッド `IlString::matches()` が追加されました。
- ・ ポインタイベントの圧縮： `IlvAbstractView` に 4 つの新しいメソッドが追加され、Unix プラットフォームでポインタの動作イベントにフィルターを適用できるようになりました。

新しいサポート環境

Rogue Wave Views 6.2 は Windows Server 2012 を正式にサポートします。

更新された機能

- ・ [API アップデート](#)
- ・ [サポート環境のアップデート](#)
- ・ [その他のアップデート](#)

API アップデート

今回のリリースでは API のアップデートはありません。

サポート環境のアップデート

今回のリリースではサポート環境のアップデートはありません。

その他のアップデート

今回のリリースではその他のアップデートはありません。

バグフィックス

以下のバグが修正されました。

- VIEWS-9308: Memory leak when creating a Bitmap on Windows, in the system memory (not in video memory).
- VIEWS-11159: X Error of failed request: RenderBadPicture (invalid picture parameter) may be generated when using Xft fonts.
- VIEWS-11182: [X11] `IlvDisplay::drawWChar()` and `drawIWChar()` do not use the 'underline' font property.
- VIEWS-11498: Studio: The Apply and Close buttons may not be visible in `IlvLayoutInspectorPanel`.
- VIEWS-11510: Events are not handled properly in Controls that are being embedded into Prototype instances.
- VIEWS-11801: Rogue Wave Views ActiveX is not registered at installation time.
- VIEWS-11810: Cannot run Views Studio on RHEL 7 with Gnome 3.
- VIEWS-11875: [Windows] Top views that are created as 'visible' are not properly updated when initially shown.
- VIEWS-11940: A gadget sitting next to an `IlvViewFrame` does not receive the keyboard focus properly.
- VIEWS-11956: [Studio] Code generation breaks if header has empty lines.
- VIEWS-11979: `IlvViewFrame` objects with double-buffering set may not refresh their borders properly if they have child views.
- VIEWS-12073: `IlvGanttChart::ensureVisible()` now moves the view by activity line instead of resource row, ensuring that the specified activity line is visible within the row.
- VIEWS-12104: [Gantt] The `IlvGanttScaleInteractor` is not activated in the Gantt Chart's timescale.
- VIEWS-12116: [Data Access] The scrollbars of the `IliTableGadget` are stuck after double-clicking on the arrow.

削除された機能

今回のリリースで削除された機能はありません。

Views バージョン 6.1 の変更点

このセクションは Rogue Wave Views version 6.1 における主な変更点を記述しています。

- ・ [新しい機能](#)
- ・ [更新された機能](#)
- ・ [削除された機能](#)

新しい機能

このセクションは Rogue Wave Views V6.1 の新機能を詳細に記述しています。

タッチスクリーンのサポート

基本的なタッチインタラクションが Views の `manager views` と `container` からデフォルトで利用可能になりました。以下のジェスチャーが操作可能です。

- ・ 1本指または2本指でのパンでコンテンツを移動。
- ・ 2本指のピンチでコンテンツをズーム。
- ・ 2本指の回転でコンテンツを回転。

X Windows 上の Xft を使ったテキストのアンチエイリアシングとスケーラブルフォント

X Window プラットフォーム上で、Views によるフォントのレンダリングに Xft と FreeType が選択可能になりました。

機能

- ・ これにより文字を描画する際にアンチエイリアシングや透過処理 (アルファチャンネル) が利用可能になりました。
- ・ スケーラブルフォントにより、メソッド `drawTransformedString()` およびクラス `IlvZoomableLabel` で変形されたテキストのレンダリングが改善されました。
- ・ この機能を利用するには Views API を追加したり修正する必要はありません。ユーザが行われなければならないことは、単に「`fc-list`」コマンドから返ってきたフォント名を使用するだけです。例えば、もし「`fc-list`」コマンドの出力の中に「`Liberation Serif:style=Bold`」が含まれていた場合、フォントのディスクリプションとして、「`%Liberation Serif-12-B`」を指定すれば、Views にこのフォントがロードされます。
- ・ この機能はオプションです。これを無効にするには、環境変数 `ILVUSEXF` カリソースの `UseXft` を `false` にしてください。Xft がインストールされていればこの機能はデフォルトで有効になっています。
- ・ この機能が有効になっている時、Views はまずフォントの名前やディスクリプションに基づき、Xft を使ってそのフォントをロードしようとします。それが失敗したら Views は Xlib を使ってそのフォントをロードします。その場合、そのフォントを使用したテキストレンダリングにはアンチエイリアシングや透過処理が適用されません。

制限

- ・ Views 製品には Xft が含まれていません。したがって対象となるプラットフォームに Xft がインストールされている時のみこの機能は利用可能です。
- ・ この機能は `shared` フォーマットでのみ、つまりアプリケーションが Views の共有ライブラリとリンクしている時のみ利用可能です。この機能は `static` フォーマットでは使用できません。
- ・ この機能は Linux と Solaris プラットフォームでのみ利用可能です。

更新された機能

このセクションでは Rogue Wave Views V6.1 の機能の変更点について記述しています。

API の変更点

`IlvManagerViewInteractor::handleEvent()` は `IlBoolean` を返すようになりました。直接的であれ間接的であれ全てのサブクラスの `handleEvent()` 関数のシグネチャは変更されます。

この関数はイベントが消費されたとき `IlTrue` を返し、そうでない場合は `IlFalse` を返します。

Note: このメソッドをオーバーライドしていた場合、この API 変更によって、お使いのコードを変更する必要があるかもしれません。

新しいプラットフォーム

今回のリリースでは新しく追加されたプラットフォームはありません。

サポート対象外となったプラットフォーム

今回のリリースでは対象外になったプラットフォームはありません。

削除された機能

今回のリリースでは削除された機能はありません。

Views バージョン 6.0 の変更点

このセクションは Rogue Wave Views version 6.0 における主な変更点を記述しています。

- ・ [新しい機能](#)
- ・ [更新された機能](#)
- ・ [削除された機能](#)

新しい機能

このセクションは Rogue Wave Views version 6.0 新機能を詳細に記述しています。

CSS (Cascading Style Sheets)

Views のロックアンドフィールドを設定する機能が強化され、CSS を利用できるようになりました。

Views のコントロールは今回のリリースから Styling を利用して制御できるようになります。CSS を実装することにより、一切の C++ のコード変更なしにインターフェイスの外観を変えることができます。

スタイルシートが設定されなかった場合は Views の挙動は以前のままです。スタイルシートの使い方を説明したサンプルが `samples/gadgets/styling` にあります。

タッチスクリーンのサポート

タッチスクリーン機能は Windows 環境では 5.7 からサポートされていました。

今回のリリースから Linux プラットフォームでもサポートされるようになります。このサポートは X Window サーバとクライアントで XInput 拡張の 2.2 以上を認めるように設定されている場合のみ有効です。

更新された機能

今回のリリースでは、以下のプラットフォームが新しくサポート対象に追加されました

- ・ Microsoft Visual Studio 2015 2つのポート (x86_.net2015_14.0 および x64_.net2015_14.0) が追加されました。

削除された機能

The Microsoft Visual Studio 2010 プラットフォーム (x86_.net2010_10.0 および x64_.net2010_10.0) は非推奨となりました。

The Rogue Wave name and logo are trademarks or registered trademarks of Rogue Wave Software, Inc. in the United States and other countries. IBM, the IBM logo, ibm.com, and ILOG are trademarks or registered trademarks of International Business Machines Corp., registered in many jurisdictions worldwide.

ACKNOWLEDGMENTS

This documentation, and the information contained herein (the "Documentation"), contains proprietary information of Rogue Wave Software, Inc. Any reproduction, disclosure, modification, creation of derivative works from, license, sale, or other transfer of the Documentation without the express written consent of Rogue Wave Software, Inc., is strictly prohibited. The Documentation may contain technical inaccuracies or typographical errors. Use of the Documentation and implementation of any of its processes or techniques are the sole responsibility of the client, and Rogue Wave Software, Inc., assumes no responsibility and will not be liable for any errors, omissions, damage, or loss that might result from any use or misuse of the Documentation

ROGUE WAVE SOFTWARE, INC., MAKES NO REPRESENTATION ABOUT THE SUITABILITY OF THE DOCUMENTATION. THE DOCUMENTATION IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ROGUE WAVE SOFTWARE, INC., HEREBY DISCLAIMS ALL WARRANTIES AND CONDITIONS WITH REGARD TO THE DOCUMENTATION, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY, OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL ROGUE WAVE SOFTWARE, INC., BE LIABLE, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHERWISE, FOR ANY SPECIAL, CONSEQUENTIAL, INDIRECT, PUNITIVE, OR EXEMPLARY DAMAGES IN CONNECTION WITH THE USE OF THE DOCUMENTATION.

The Documentation is subject to change at any time without notice.